



高校生議会 提案実現チーム 「下関北高 廃コン's」

高校生の「廃校を活用して婚活イベントを」の一言が
地域の大人たちを動かした
世代を超えた共創が、地域の未来に光を灯す



▲下関北高の生徒会執行部のメンバー。
有田克由さん(前列中央)が、高校生議会で
提案した内容を実現することに。

若い一言が発端

「めっちゃ緊張しました」。
昨年12月の高校生議会で、下
関北高3年の有田克由さんは、
初めて市議会の議場に立ちま
した。そこで「廃校を婚活イ
ベントに活用する」というア
イデアを発表。講評で副市長
から「良い着眼点」と評価され
て、有田さん自身も手応えを
感じたといいます。

この提案を思い付いたきつ
かけは、電車に乗った際に感
じた「人が少ない」という違和
感。調べるうちに空き家や廃
校の現状を知り、「せっかくな
ら楽しいことを」と婚活イベ
ントを組み合わせることを考

高校生議会での提案が まち協との共創で実現

えました。
この「若い一言」を聞き逃さ
なかったのが、豊北地区まち
づくり協議会でした。

世代を超えた共創

「やりたい」。高校生が声
をそろえたのは、まち協から
「一緒にやろう」と誘われた時
打ち合わせで、高校生が考え
た「学校の時間割になぞらえ
たプログラム」を披露。大人
たちは宣伝、資金面を支え、
二人三脚で企画を練り上げま
した。

高校生たちは、参加者の動
線や交流をどう演出するかを
中心に企画を担当。まち協は、
資料調達や婚活情報サイトへ
の情報掲載など、実務を担い
ました。互いの得意を生かす
うちに、世代を超えた信頼関
係が築かれていきました。

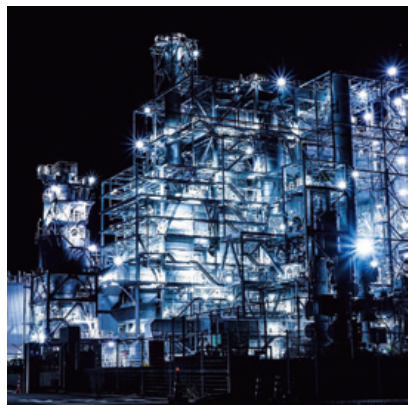
8月31日、旧阿川小学校で
迎えた当日。参加者は14人。
高校生は、校長、教員役に。
教室では、1時間目…自己紹
介、2時間目…学活(いす取
りゲームなど)、3時間目…
図工(ゴム鉄砲作り)、4・5
時間目…文化祭(射的ゲーム



市報×Instagram連動企画
フォロワーの皆さんが投稿した下関
の魅力が伝わる写真をご紹介します♡



♡ Q ♪ @devilkazzzさん



♡ Q ♪ @chiho.0614さん



♡ Q ♪ @yoshi.taharaさん

(上から)土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、
長府扇町、下関漁港開門

Can You Guess Where This Is??

▶ラジオでイベント
をPR。出演したのは、
豊北地区まちづくり協
議会会長の妻崎和雅さん
(左)、有田さん。



◀企画をした高校生
たちは教員としてイ
ベントに参加。有田
さんは、校長先生と
してあいさつ。

▶文化祭の時間。図工
の時間で作ったゴム
鉄砲を使った射的
ゲームやスーパ
ーボールすくいな
ど、笑い声が絶え
ない楽しい時間
となった。



地域の化学変化

イベント参加者への事後ア
ンケートには、「高校生のパ
ワーに感動した」「また参加
したい」とありました。裏方を支
えたまち協のメンバーも「大

など」、6時間目…体育(スイ
カ割り)まで、まるで「大人の
学校」のような一日が展開し
ました。
「前日まで不安でいっぱい
でしたが、参加者が楽しそう
にしている姿を見て、うれし
くて無我夢中でした」と有田
さん。下関北高3年の永富凛
さんも「当日は、恥ずかしさ
よりも、楽しさが勝ちました」
と振り返ります。

人にはない斬新な発想でした。
廃校活用の確かな一歩になっ
た」と手応えを語ります。
廃校舎は、耐震性がないな
ど課題が残るものの、使われ
なくなった校舎が再び笑い声
で満ちた光景は、多くの人の
心に刻まれました。有田さん
も「地域課題に関心を持つき
っかけになりました。将来は、
地域課題に携わる進路を考え
たい」と、未来を見据えます。
「高校生の提案力と、大人の
フットワークが合わさると、
こんなに早く実現できる」と豊
北地区まちづくり協議会会
長の妻崎和雅さん。世代を超
えた挑戦は、次なる地域の活
性化への期待を高めています。

Editor's note

編集後記

◆あんなに取材されたのに、載る記事こんだけ
かーい！って思っている方がきっと13人ぐら
いらっしゃいますね。少し言い訳をさせてい
ただくと、皆さんの背景だとか、心の奥底にある
思いに触れてからじゃないと、良い記事は書け
ないのです。表情や内容だけじゃなく、笑い声
からにじみ出てくるその人らしさを丁寧に丁寧
に…。にしても今月は特に載せ切れなかった
この次もたくさんお話を聞かせてくださいね(み)